

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00039 )

施策	04	地域の魅力あふれる多心型まちづくり
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 都市整備部管理課

**施策目標** 荻窪駅周辺において、歴史・文化等の潜在能力を十分生かし、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進んでいきます。各区域の特色や魅力を生かしたまちづくりが進み、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたくなるまちになっています。区民等による主体的なまちづくり活動が活発に行われることにより、住宅都市としての魅力や価値が更に高まっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	荻窪駅周辺都市再生事業に関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名(1)	普段利用する駅周辺の満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名(2)	自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(3)		指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 回	6	0	6	0	13		
	活動指標(2)	2 回	6	5	7	5	6		
	活動指標(3)	3							
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 %	72.6	0.0	71.0	73.3	72.4	76.0%	令和12年度
	成果指標(2)	6 %	79.1	0.0	78.7	79.6	78.6	82.0%	令和12年度
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	54,436	46,208	35,736	33,479	21,629	<b>特記事項</b> 予算執行率が90%未満となった主な理由は、西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託(令和4年度)の委託内容が変わり、委託費が大幅に減少したことが挙げられます。	
	人件費	12 千円	102,603	101,300	103,622	105,709	115,630		
	総事業費 (11+12)	13 千円	157,039	147,508	139,358	139,188	137,259		
	国・都からの補助金等	14 千円	2,270	0	0	0	2,409		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			11.3	5.6	1.5		
	人件費比率 (12÷13)	16 %	65.3	68.7	74.4	75.9	84.2		

課題・分析	<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成する必要があります。</p> <p>区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺では、令和6年度の（仮称）荻外荘公園の開園に向け、回遊性向上やまちづくりの機運醸成を図る必要があります。</p> <p>各地域の課題解決や住環境維持のために、住民発意によるまちづくりの取組の増加が今後も予想されます。そのため、地区計画などの各種まちづくり制度やエリアマネジメントの仕組みを活用しながら、地域の特性を踏まえつつまちづくりの課題解決や魅力向上が必要と考えます。</p> <p>まちづくり団体活動助成の申請は、計画値に近い数値で推移しており、機運を高めることができています。また、多くの団体が継続して活動を行っていますが、次の段階へステップアップを目指すための取り組みが必要となっています。</p>
-------	--

施策の成果	<p>荻窪駅周辺では、（仮称）荻外荘公園開園をきっかけとした魅力向上、回遊性向上等に向けた事業を行うため都市再生整備計画を策定するとともに、普及啓発として、まちづくりニュースの配布、地域ロゴマーク周知イベント及びオープンハウス型懇談会を開催しました。阿佐ヶ谷駅北東地区では「緩やかな協議の場（エリアプラットフォーム）」の構築を行いました。中杉通り沿道では、道路管理者や周辺町会等と課題共有し、意見交換を行いました。西荻窪駅周辺では、懇談会等の今後の進め方や内容検討を行いました。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、庁内で地域課題等について情報共有を図り、課題解決に向けた取組を進めました。富士見ヶ丘駅周辺では、庁内関係部署との調整やまちづくり協議会との意見交換を行い、令和5年度方針策定に向けた取組を進めました。</p> <p>「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画」など、既決定の地区計画区域内において提出された建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することにより、良好な住環境の形成を誘導しました。制度開始からこれまで、多くのまちづくり活動団体への支援を行うとともに、その後の活動に対してもコンサルタント派遣による支援などを行っており、現在も多くの団体が継続して活動していることは、区民等主体のまちづくり活動に大きな成果があると考えています。</p>
-------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成していきます。</p> <p>まちづくりの施策では、今後も地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。今年度から新たに行う阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築し、対話の場での意見等の実現に向けた取組や促進を行います。公民連携まちづくりでは、エリアマネジメントの仕組みを活用しながら、未来ビジョンの実現に向け、上記対話の場等との連携も行った、体制・エリア・活動等の拡大をし、魅力あるまちづくりを目指します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについては、引き続き、丁寧に地域の意見を聴取しながら、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の実現に向けた個別具体の取組を進めます。まちづくり活動団体への支援は、活動助成金やコンサルタント派遣だけでなく、区民主体のまちづくり活動の活性化を図るため、新たな支援策の検討を進めます。</p> <p>今後の進め方</p>
--------------------------	---

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 地域の魅力あふれる多心型まちづくり】

金額の単位は千円

( 00039 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 354	地区整備計画			830	35,019	35,849	現状維持
2 357	まちづくり活動の支援			657	6,331	6,988	現状維持
3 360	都市再生事業			9,668	37,681	47,349	推進（拡充）
4 361	多心型まちづくりの推進			10,474	36,599	47,073	現状維持
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				21,629	115,630	137,259	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00040 )

施策	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 市街地整備課 土木計画課 土木管理課

施策目標 鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名 ( 1 )	区施行優先整備路線の事業着手率	指標名 ( 1 )	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合
算式・指標説明	事業着手率 ÷ 区施行優先整備路線延長	算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名 ( 2 )	安全対策路線の整備延長	指標名 ( 2 )	都市計画道路 ( 区道 ) 完成延長
算式・指標説明	平成29年度からの整備延長	算式・指標説明	区内の都市計画道路のうち整備が完成して区道延長【行政】
指標名 ( 3 )		指標名 ( 3 )	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名 ( 4 )		指標名 ( 4 )	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 ( 5 )	
		算式・指標説明	
		指標名 ( 6 )	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績				
活動指標	活動指標 ( 1 )	1	%	26	26	26	39	39		
	活動指標 ( 2 )	2	km	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5		
	活動指標 ( 3 )	3								
	活動指標 ( 4 )	4								
成果指標	成果指標 ( 1 )	5	%	76.9	0.0	79.1	78.0	75.9	80.0%	令和12年度
	成果指標 ( 2 )	6	m	7,022	8,052	7,022	7,022	7,022	8,178m	令和12年度
	成果指標 ( 3 )	7								
	成果指標 ( 4 )	8								
	成果指標 ( 5 )	9								
	成果指標 ( 6 )	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,306,845	1,508,089	1,359,182	1,575,631	1,275,233	特記事項	
	人件費	12	千円	252,822	251,945	291,333	320,923	317,400	「杉並区まちづくり基本方針」は、冊子及び概要版の印刷が未執行となりました。都市計画道路の整備における物件調査及び補償総合業務費の一部を次年度に繰越しました。道路の路面改良では、工事の落札差金及び令和5年度への繰越がありました。魅力ある歩行者優先の道づくりでは、無電柱化の推進に関わる設計、測量、調査等委託費の落札差金がありました。以上の内容から執行率が低下しております。	
	総事業費 (11+12)	13	千円	1,559,667	1,760,034	1,650,515	1,896,554	1,592,633		
	国・都からの補助金等	14	千円	308,191	243,610	263,760	236,036	266,303		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			5.8	7.8	3.5		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	16.2	14.3	17.7	16.9	19.9		

課題・分析	<p>成果指標の「身近な道路が安全で快適だと思える区民の割合」は比較的高い水準にありますが、都市基盤の骨格となる都市計画道路の区道完成延長は7,022mであり、国・都道を含む区内都市計画道路完成率は令和4年度末時点で約50%と、23区中20番目と低い状況です。まちの安全性や快適性の向上を図るため、都市計画道路や身近な生活道路等の整備を着実に進める必要があります。</p> <p>また、都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査などに多くの費用と時間を要することから、国や都の補助金を活用しながら区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。</p> <p>鉄道連続立体交差事業については、複数の関連機関と密に連携しながら事業を進める必要があります。都市計画道路の整備同様、区民への説明や意見聴取を丁寧に行いながら、誰もが安心して快適に移動できる都市環境の形成を目指していきます。</p>
-------	--

施策の成果	<p>都市を形成する最も基本的なインフラである道路や鉄道については、鉄道連続立体交差事業において、用地測量や関係機関協議など、事業化に向けた具体的な取組を実施し、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消に向けた取組を進め、成果指標である都市計画道路の整備では、補助第221号線において事業着手する等により、円滑な交通ネットワークの形成に向け、着実に事業を進めることができました。</p> <p>さらに、生活道路の整備については、優先整備路線の事業着手を計画目標値に沿って進めることにより、まちの防災性や安全性、移動円滑性を向上させることができました。</p> <p>また、これら都市基盤を管理する上で重要な道路を含む公共物の情報整備の面では、計画的に測量や現地立会を実施し、着実に調査面積を増やしており、大規模災害等への備えにも資する都市基盤情報の整備を進めています。</p> <p>区のまちづくりの将来像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」に、これらの事業を進める上で必要不可欠となる対話や情報提供による区民参加の推進について記載することにより、区民主体のまちづくりの実現を図っています。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>今後も施策目標で掲げる交通渋滞の解消や円滑な交通ネットワークの形成、まちの防災性などを高めるため、鉄道連続立体交差事業や都市計画道路など都市の骨格を形成する都市基盤の整備を推進する必要があります。一方で、区民の身近な生活で利用される生活道路や私道の整備についても、計画的に修繕工事を行いつつ、年間の整備面積を増やしていくことにより、区道・私道問わず、より利用者の安全な通行に向けた取組を進めていきます。</p> <p>このほか、これら道路を含む公共物の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興を図るため、地籍調査を含む道路台帳の整備を推進することとしますが、整備にあたっては木造住宅密集地域等を優先的に進めるなど、より効果的な方法を模索しながら進めます。</p> <p>これらの事業を進めるにあたっては、引き続き都や関係区市との連携を強化すると共に、「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりを念頭に、適宜、地域住民等の意見聴取や情報提供を行いながら、個別具体的な取組を推進することにより、住宅都市としての価値を高めていきます。</p>
--------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 人々の暮らしを支える都市基盤の整備】

金額の単位は千円

( 00040 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 348	まちづくり施策の総合的な推進			4,231	23,392	27,623	現状維持
2 350	都市計画道路公園緑地の案内調整			39	17,967	18,006	現状維持
3 353	鉄道連続立体交差化の推進			117,003	40,216	157,219	推進（拡充）
4 392	道路台帳の整備			192,330	60,805	253,135	推進（拡充）
5 393	私道整備助成			168,773	8,318	177,091	現状維持
6 396	道路の路面改良			617,757	48,503	666,260	推進（拡充）
7 397	魅力ある歩行者優先の道づくり			56,705	44,335	101,040	現状維持
8 398	都市計画道路の整備			118,395	73,864	192,259	推進（拡充）
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,275,233	317,400	1,592,633	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00041 )

施策	06	誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 土木管理課 杉並土木事務所

施策目標  
 AI・IoTなどの技術を取り入れたMaaS等の新しい移動サービスの活用により、多様なライフスタイルに対応した利便性の高い交通体系の構築が進んでいます。  
 自転車を利用する際のルールやマナーが守られることなどにより、区内における交通事故件数は更に減少し、自転車に関する事故の割合も下降しています。  
 安全と環境面に配慮した交通安全施設の整備が進み、誰もが安全に安心して移動できる環境が整備されています。

活動指標	成果指標
指標名(1) 杉並区地域公共交通活性化協議会の開催数 算式・指標説明	指標名(1) 交通の便が良いと思う区民の割合 算式・指標説明 区民意向調査による【区民】
指標名(2) 自転車安全利用講習会参加者数 算式・指標説明 小学校の自転車安全利用講習会参加者数に、区主催の一般向け自転車講習会参加者数を加えた合計数	指標名(2) できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合 算式・指標説明 区民意向調査による【区民】
指標名(3) 算式・指標説明	指標名(3) 区内における交通事故件数 算式・指標説明 「道路交通法」に規定する道路における車両等による人身事故件数 1月～12月【社会】
指標名(4) 算式・指標説明	指標名(4) 区内における自転車関与事故件数 算式・指標説明 区市町村別各種交通事故発生状況(警視庁)【社会】
	指標名(5) 算式・指標説明
	指標名(6) 算式・指標説明

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	回	0	0	1	3	3		
	活動指標(2)	2	人	3,143	3,300	3,587	3,300	3,622		
	活動指標(3)	3								
	活動指標(4)	4								
成果指標	成果指標(1)	5	%	93.5	0.0	93.8	95.2	93.5	96.8%	令和12年度
	成果指標(2)	6	%	91.5	0.0	91.7	92.3	93.1	93.9%	令和12年度
	成果指標(3)	7	件	838	950	887	804	893	678件	令和12年度
	成果指標(4)	8	件	367	0	402	351	419	297件	令和12年度
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	2,064,756	2,166,163	1,984,452	2,242,123	2,123,283	特記事項	
	人件費	12	千円	233,679	233,909	250,821	247,215	247,631		
	総事業費(11+12)	13	千円	2,298,435	2,400,072	2,235,273	2,489,338	2,370,914		
	国・都からの補助金等	14	千円	37,045	4,365	12,129	0	3,899		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			2.7	3.7	6.1		
	人件費比率(12÷13)	16	%	10.2	9.7	11.2	9.9	10.4		

課題・分析	<p>都心にほど近く交通の便の良い当区において、一層の区民満足度を上げるには、利便性の向上と安全性の確保を両輪で進めて行く必要があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、区民のライフスタイルが変容し、また交通業界においては100年に一度と言われる技術革新期にあることを好機と捉え、多様な区民の移動ニーズに対応していかなければなりません。</p> <p>一方で、この間外出抑制が解除されたこと等を受け、交通事故件数、とりわけ自転車関与事故が増加傾向にあることから、今まで以上にE B P Mの考え方を踏まえた効果的な交通安全対策が求められています。</p>
-------	--

施策の成果	<p>自転車の安全利用の促進については、講習会等へ一層の区民参画が図られました。</p> <p>また、新たなモビリティサービスの導入の一環として、グリーンスローモビリティの実証運行をすることも、デジタルスタンプラリーなどの移動需要を創出するMaaSの実証実験を実施し、様々な移動データを基にした交通分野におけるE B P M推進の可能性を確認しました。</p> <p>交通安全対策については課題が残るものの、公共交通等の利用促進とあわせて、利便性が高く、誰もが安全に安心して移動できる環境の整備が進んでいます。</p>
-------	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	<p>利便性の高い交通体系の構築に向け、MaaSを基軸に取組を推進します。推進にあたっては、既存の交通事業者等のMaaSプラットフォームの活用検討を進めます。</p> <p>また、MaaSを活用することで、公共交通や徒歩・自転車による移動のつながりを高め、更なる自転車活用を推進し、過度な自動車依存から、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度にかしこく選択するよう行動変容を促します。さらに、MaaSにより得られた移動データを基にした交通分野におけるEBPMを推進するとともに、そこから派生して都市OS（データ連携基盤）やスマートシティに関する調査・研究を進めます。</p> <p>コロナ禍を経て、区民の移動実態の変化により事故件数は増加傾向にありますが、交通安全の啓発活動を着実に推進するとともに、自転車関与事故等のデータを分析することによる、効果的かつ安全面・環境面に配慮した交通安全対策の実施を検討します。</p>

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 06】【施策名称 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備】

金額の単位は千円

( 00041 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 351	新たな地域交通の整備			11,528	13,734	25,262	推進（拡充）
2 382	有料制自転車駐車場の運営			828,073	40,535	868,608	推進（拡充）
3 383	放置自転車対策の推進			202,750	58,948	261,698	現状維持
4 384	自転車等駐車対策協議会の運営			5	3,825	3,830	推進（拡充）
5 385	自転車駐車場等整備			56,330	5,655	61,985	推進（拡充）
6 408	街路灯の維持補修			153,777	13,979	167,756	現状維持
7 409	街路灯の新設・改修			188,440	15,467	203,907	現状維持
8 410	民有灯の助成（維持補修）			90,576	7,662	98,238	現状維持
9 411	民有灯の助成（建設補助）			79,019	5,573	84,592	現状維持
10 412	交通安全運動の推進			43,036	12,828	55,864	推進（拡充）
11 413	交通安全施設の維持補修			61,833	14,150	75,983	現状維持
12 414	交通安全施設の整備			157,785	39,427	197,212	現状維持
13 415	南北バスの運行			76,965	12,070	89,035	推進（拡充）
14 464	通学路の設置管理			173,166	3,778	176,944	現状維持
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,123,283	247,631	2,370,914	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00042 )

施策	07	暮らしやすい住環境の形成
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 住宅課 みどり公園課

施策目標  
居心地が良く魅力的なまちなみが形成されることによって、住宅都市としての価値が更に高まっています。ユニバーサルデザインのまちづくりや、区立施設・駅施設のバリアフリー化が更に進み、誰もが暮らしやすく、快適で魅力あるまちとなっています。バリアフリー化された住宅と良好な住環境の中で、誰もが暮らしやすく住み続けられるまちになっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	杉並区バリアフリー推進連絡会の開催回数	指標名(1)	杉並区を住みよいまちと思う区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(2)	景観新聞(景観録)の発行部数	指標名(2)	まちなみに美しさや落ち着きがあると思う区民の割合
算式・指標説明	景観施策の普及啓発事業	算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(3)	マンション管理状況届出書届出件数	指標名(3)	
算式・指標説明	区内マンション管理者からの管理状況の届出を提出いただいた件数	算式・指標説明	
指標名(4)	老朽危険空家の除却工費費助成件数	指標名(4)	
算式・指標説明	特定空家、老朽危険空家を自主的に除却することを促し、その工事費用を助成している件数	算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	回	2	2	2	3	3		
	活動指標(2)	2	部	17,500	17,300	17,300	17,000	17,000		
	活動指標(3)	3	件	407	528	484	528	495		
	活動指標(4)	4	件	2	10	1	5	4		
成果指標	成果指標(1)	5	%	96.3	0.0	96.2	97.0	95.9	98.0%	令和12年度
	成果指標(2)	6	%	80.5	0.0	79.6	82.0	80.0	90.0%	令和12年度
	成果指標(3)	7								
	成果指標(4)	8								
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,143,756	1,117,054	1,011,375	1,230,963	1,146,360	特記事項	
	人件費	12	千円	193,760	178,749	184,808	177,806	181,085		
	総事業費(11+12)	13	千円	1,337,516	1,295,803	1,196,183	1,408,769	1,327,445		
	国・都からの補助金等	14	千円	131,282	116,973	115,124	136,591	131,571		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			10.6	8.7	11.0		
	人件費比率(12÷13)	16	%	14.5	13.8	15.4	12.6	13.6		

課題・分析	<p>各々の事務事業の実績において、目標に向け着実に取組を進めており、良好な住環境を維持できていると分析します。令和4年度は部の最上位計画である「杉並区まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）」が改定され、これに伴いバリアフリー基本構想や住宅マスタープラン、空家対策計画が改定されました。今後は、景観計画やみどりの基本計画の改定も予定されています。これら計画の課題を着実に進めるとともに、新たな検討課題にも取り組むことで、更なる「暮らしやすい住環境の形成」を図る必要があります。</p>
-------	---

施策の成果	<p>国の法改正などを踏まえバリアフリー基本構想の改定を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりを進める計画を策定したほか、マンションの適正管理事業や区営住宅の長寿命化修繕などを実施し、安全で快適に暮らせるまちづくり施策を進めました。また、景観計画に基づく景観誘導や、景観事業の普及啓発を行うとともに、空家等対策として除却助成や専門家による相談窓口を毎月開催するなど、美しく落ち着いたあるまじなみの形成を進めてきました。今後もこうした取組により、暮らしやすい住環境の整備や魅力的なまちの形成を図ります。</p>
-------	--

改善・見直しの方向 中長期	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p>
	<p>区は、令和4年度に「杉並区まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）」を改定しました。この改定に即し「杉並区バリアフリー基本構想」「杉並区住宅マスタープラン」「杉並区空家対策計画」を改定しており、令和5年度から運用を開始しています。今後はこれらの計画に基づく事業を着実に進めるとともに、各事業における新たな事業展開による事業拡充、個々の事業の必要性の検討などを行い、住環境施策に関連するすべての事業において、目標の達成に向けた必要な取組を実施していきます。</p> <p>今後の進め方</p>

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 07】【施策名称 暮らしやすい住環境の形成】

金額の単位は千円

( 00042 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 352	ユニバーサルデザインのまちづくり推進			11,165	11,895	23,060	推進（拡充）
2 356	景観まちづくり			7,812	15,388	23,200	現状維持
3 362	区営住宅の住環境整備			139,493	4,001	143,494	推進（拡充）
4 363	区営住宅の提供			218,521	33,709	252,230	推進（拡充）
5 364	高齢者住宅の提供			543,287	30,914	574,201	現状維持
6 365	都営シルバーピアの運営			32,243	1,664	33,907	現状維持
7 366	高齢者等アパートの提供			21,980	4,510	26,490	縮小（廃止）
8 367	マンションの適正な管理			1,080	17,634	18,714	現状維持
9 368	住宅修築資金の融資あっせん			76	2,326	2,402	縮小（廃止）
10 369	区営住宅整備基金の積立金			147,822	2,162	149,984	現状維持
11 370	住宅施策の推進			12,115	31,595	43,710	推進（拡充）
12 379	空家等対策の推進			10,766	25,287	36,053	推進（拡充）
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,146,360	181,085	1,327,445	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00043 )

施策	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

**施策目標**  
 社会情勢の変化に応じた中小企業・創業支援や商店街支援等の取組により、地域経済が活性化されています。一人ひとりの状況に即した就労支援が行われ、誰もが多様な働き方を実現することができています。「杉並」の魅力や価値が更に高まり、その魅力や価値が区内外に発信され、にぎわいの創出につながっています。農業者への支援のほか、区民の農業への理解促進や地産地消の推進、農福連携事業などの取組により、都市農地が持つ多面的な機能が発揮され、農地が保全されています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	融資あっせん件数	指標名(1)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援等事業を利用し、区内で創業した事業者数【行政】
指標名(2)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名(2)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数【行政】
指標名(3)	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助(イベント事業)件数	指標名(3)	商店街のイベントに参加したことの区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(4)	農家戸数	指標名(4)	アニメーションミュージアム来館者数
算式・指標説明	農地台帳上の区内農家戸数	算式・指標説明	【行政】
		指標名(5)	区内農業産出額
		算式・指標説明	東京都農作物生産状況調査による(目標及び実績は、当該年度において直近で把握できる数値)【社会】
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	件	1,054	1,000	894	1,000	852		
	活動指標(2)	2	件	1,821	2,150	1,588	2,150	1,294		
	活動指標(3)	3	件	32	96	42	110	56		
	活動指標(4)	4	戸	127	127	125	125	121		
成果指標	成果指標(1)	5	件	111	80	102	130	162	130件	令和12年度
	成果指標(2)	6	人	465	850以上	530	850以上	495	850人以上	令和12年度
	成果指標(3)	7	%	42.1	43.0	40.4	43.0	33.7	51.0%	令和12年度
	成果指標(4)	8	人	20,354	24,500	35,731	28,000	39,124	80,000人	令和12年度
	成果指標(5)	9	百万円	315	370	306	320	301	320百万円	令和12年度
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,240,556	1,266,133	1,015,554	1,223,897	982,675	<b>特記事項</b> 主に原油価格・物価高騰等特例資金の申請件数が想定より少なかったことによる、同資金融資に伴う信用保証料補助の予算執行残となっています。また、農業体験農園の新規開園の実績がなかったため、事業費実績が対計画比で80.3%となりました。	
	人件費	12	千円	274,169	243,462	244,887	228,001	249,092		
	総事業費(11+12)	13	千円	1,514,725	1,509,595	1,260,441	1,451,898	1,231,767		
	国・都からの補助金等	14	千円	532,988	118,129	233,255	159,370	238,960		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			16.8	3.8	2.3		
	人件費比率(12÷13)	16	%	18.1	16.1	19.4	15.7	20.2		

課題・分析	<p>中小企業支援においては、区内事業者に対する社会情勢に応じた融資や助成などの経営支援を続けていく必要があります。就労支援においては、コロナ禍以降相談件数が減少した状態のため、より多くの区民への周知、認知度を向上させ、利用促進に取り組む必要があります。</p> <p>商店街のイベントに参加したことのある区民の割合は、令和2年度実施調査に比べ大きく下回ったことから時代に即した適切な商店街支援を通じたまちのにぎわいを取り戻し、地域の活性化を図る必要があります。また、インバウンドを含めた観光客の動向は、徐々に回復傾向にあるため、「杉並ならではの」魅力ある観光情報を発信することで、観光客の誘致を積極的に図ります。</p> <p>農家戸数や区内農業算出額は農業者の高齢化や後継者不足などの課題により年々減少を続けているため、農業ボランティア制度による人的サポートのほか、農業体験・即売会などを通じ、都市農地の必要性について理解促進に努めるなど、農業者・区民の両面から農地保全を図る必要があります。</p>
-------	--

施策の成果	<p>杉並区産業振興計画に基づき、区内産業の振興に取り組みました。</p> <p>創業支援による創業者数は、従来の創業支援策のほか、令和4年度に創設した創業スタートアップ助成(59事業者)などが活用されたことにより、計画値を上回る162事業者となりました。</p> <p>就労支援においては、コロナ禍により、就労支援センターを利用し、相談やトレーニングを通じて就職が決定した人数は計画値に届きませんでした。495人の就職に結びつきました。</p> <p>商店街チャレンジ戦略支援事業費補助(イベント事業)件数は、56件と計画件数の約半数にとどまりましたが、令和3年度実績件数と比べると33.3%増となり、徐々にコロナ禍以前の件数に戻りつつあります。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、5か月間の休館ありましたが、企画展での人気アニメコンテンツの活用などにより、令和3年度比3,393人増の39,124人となり、多くの方にアニメの魅力を発信することができました。引き続き、「杉並ならではの」魅力を活用したにぎわいの創出、観光客の誘致を図っていきます。</p> <p>農業においては、農地面積等が減少する中で、営農活動支援費を27件助成して農業者支援を行ったほか、学校給食「地元野菜デー」(1回)や生産者グループ等による即売会(189回)などの実施により、地産地消を推進しました。また、情報誌の発行(年2回)により多面的な機能を持つ都市農地の魅力を広く発信しました。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>中小企業支援においては、社会経済状況を踏まえた、区内事業者への融資あっせんや信用保証料補助等の実施による経営支援に加え、令和4年度に開始した創業スタートアップ助成を引き続き実施し、区内の創業促進を図ります。</p> <p>就労分野では、就労支援センターでの就職準備相談や個別就職面接会、区内各所での就職面接会の実施に加え、利用者へのアンケート調査により、利用に至ったきっかけなどを把握し、アプローチ方法の検討に役立てるなど、更なる支援につなげていきます。</p> <p>商店街のイベント事業等支援では、商店街の魅力づくりや商店街のPR方法等の課題を解決するため、アドバイザー派遣事業を拡充し、アドバイザーを活用した商店街イベント創設等に取り組んでいきます。「杉並」の魅力を高めるために、日本一アニメ制作会社が集積する地域特性を生かした「杉並アニメーションミュージアム」を通して、引き続き、人気アニメコンテンツを活用し、広く情報発信する等、区内全域のにぎわいの創出、観光客の誘致を図っていきます。</p> <p>農業分野においては、農業の担い手の確保が喫緊の課題であることから、ボランティアバンクの登録者を拡充し、農業者と農業ボランティアのマッチングを進めるとともに、関係課や関係団体などと連携し、学校給食の「地元野菜デー」の全校実施など、更なる地産地消を推進します。</p>
--------------------------	--

# 令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 08】【施策名称 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興】

金額の単位は千円

( 00043 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1095	中小企業支援			326,466	48,141	374,607	現状維持
2096	商店街支援			261,270	56,463	317,733	推進（拡充）
3097	アニメの振興と活用			84,047	27,384	111,431	現状維持
4098	観光促進			58,877	49,510	108,387	現状維持
5100	産業商工会館維持管理			49,274	4,812	54,086	推進（拡充）
6103	農業の支援・育成			15,151	21,155	36,306	推進（拡充）
7104	都市農地確保			39,973	21,155	61,128	推進（拡充）
8105	勤労福祉会館維持管理			57,342	4,076	61,418	現状維持
9106	就労支援			90,275	16,396	106,671	現状維持
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				982,675	249,092	1,231,767	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--